

2020年11月12日

各 位

会 社 名 : 富士製薬工業株式会社

代表者名 : 代表取締役社長 岩井 孝之

(コード番号:4554 東証第一部)

エムスリーと富士製薬工業による「FSN-013」(月経困難症治療剤)の
共同開発・共同販売契約締結について

エムスリー株式会社(本社:東京都港区、以下「エムスリー」)と富士製薬工業株式会社(本社:東京都千代田区、以下「当社」)は、当社が2016年にMithra Pharmaceuticals(本社:ベルギー、以下「Mithra社」)との間で日本国内とASEANにおける開発・販売権を取得した、エストロロール/ドロスピレノン配合剤(以下本剤、当社開発コード:FSN-013)につき、エムスリーと当社が日本国内における開発を共同で実施し、当社の日本国内での販売活動においてはエムスリーの提供するe-プロモーションサービスを利用する、共同開発・共同販売契約を締結することに合意しましたので、お知らせ致します。

本剤は、Mithra社が開発中の新薬で、天然型エストロゲンが起源の製剤です。2020年2月28日付の「欧州でのエストロロール/ドロスピレノン配合剤の開発状況について」においてお知らせした通り、すでにMithra社は欧州で製造販売承認申請を行っているほか米国でも同申請を完了しており、日本国内では月経困難症治療薬として当社が開発を進めております。日本国内における同剤の開発は順調に推移しており、本日現在、Phase II試験まで完了、2024年の上市を目指してPhase III試験に入る予定です。

本契約によって、本剤に関わる開発費用の一部(上限15億円)をエムスリーに負担いただき開発の確実性を更に向上させるとともに、共同販売の取組みを通じて本剤をより多くの患者さまにお届けすることができるものと考えております。

また、本剤の国内販売活動において当社は、2024年9月期を最終年とする中期経営計画でも掲げているDX推進の一環として、エムスリーが提供するMR君やWeb講演会e-プロモーションサービス関連サービスの利用に加え、「m3.com」会員医師のインサイトやビッグデータを活用することで、疾患啓発や治療に関わる課題の解決を推進してまいります。

今後も、当社が2030年ビジョンにおいて掲げている「世界の女性のwell-beingの向上に貢献している」、「薬の富山からGlobal Marketに進出している」、「世界一幸せな会社と社会貢献が一体化している」の実現を目指してまいります。

<エムスリーについて>

エムスリーは、日本の医師の 9 割にあたる 29 万人以上が登録する医療従事者専門サイト「m3.com」を運営し、製薬会社向けマーケティング支援サービスや治験支援サービス等を提供しています。昨今は AI を用いた診断ツールの開発、ゲノム検査の提供、脳梗塞リハビリ施設のグループ会社化など医薬品マーケティングに留まらないサービスの拡充、またそれらを複合的に組み合わせ医療疾患課題自体の解決を目指す「7P プロジェクト」を推進しています。また、日本のみならず米国、英国、フランス、中国、韓国、インドなど海外にも積極的に進出しており、全世界の医師の半数にあたる 600 万人の医師会員・調査パネルを基盤とした様々な事業を行っています。詳細はエムスリーのウェブサイト (<https://corporate.m3.com/>) をご覧ください。

以 上

【本件に関するお問い合わせ】

富士製薬工業株式会社 経営企画部 コーポレートコミュニケーション課

fsk_ir@fujipharma.jp